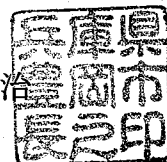


豊建第号 5178 号
平成 20 年 10 月 21 日

国土交通省道路局長様

豊岡市長 中貝 宗治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号で依頼のありました標記の件について、別紙
のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

兵庫県豊岡市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

・高速道路ネットワークの整備

1.『命をつなぐ道』

基幹病院につながる道路ネットワーク整備が必要です。

2.『自立の道』

地域の活性化は、交流人口の増加にあり環境・観光・文化の特色あるまちづくりのための道整備は、必要です。

3.『危機管理の道』

南海・東南海・東海地震が30年以内に起きる確立が極めて高いといわれており、急務となっています。

道路は、助けに行き、助けにきてもらう道であり、被災地を迂回して日本全体のために東西あるいは南北の道路を確保する交通網が必要です。

以上のとおり、豊岡市を含む但馬地域においては、「命をつなぐ道」「自立の道」「危機管理の道」としての機能を果たす、「北近畿豊岡自動車道」「鳥取豊岡宮津自動車道」の高速道路整備は、真に必要な道路整備として確実に推進する必要があります。

・道路財源の確保

道路特定財源は、自主財源の乏しい地方が道路整備に支障をきたさぬように、道路整備交付金制度等の存続・拡充と地方における財政的な負担軽減をお願いします。

・効率的な工事執行

積雪地域においてゼロ国債、ゼロ市債などの活用により4月工事着手、適期に工事を行い、市民へ公共工事の協力と理解を求められるようにします。

○現状

豊岡市を含む但馬地域は、高速道路ネットワークが未整備の地域であり、大都市圏からの所要時間が長く、産業振興、観光振興の大きな障害となっています。

本市は、兵庫県の北東部に位置し、北は日本海に接しており、その面積は約 700km²と拡大であり兵庫県下で最大の面積を保有しています。市域の約8割を山林が占めており、多彩な自然に恵まれています。

本市の道路網は、東西に横断する国道 178 号と 482 号を国道 312 号と 426 号が南北につなぎ、これら国道と連結する県道や市道、都市計画道路などで形成されています。

市域内の道路では、生活圏の拡大などにより交通量が増大し、通勤時間帯や観光シーズンには幹線道路の各所で交通渋滞が発生しています。

市域の中央部を流れる円山川は、水害時には幾度となく氾濫をおこし、その度に市内の多くの箇所が浸水し、幹線道路は通行止めとなり、但馬唯一の緊急医療機関である豊岡病院も救急体制に支障をきたしています。

本市の中心部をなす豊岡盆地は、40m以上の軟弱地盤地帯であり、構造物の沈下対策に多額の費用を要するとともに主として冬期の消雪水のくみ上げにより年間 1cm の地盤沈下をおこしており、地下水のくみあげを伴わない安価な消雪方法が望まれています。

冬期には、東北地方に匹敵する多くの降雪があり、積雪により自動車交通に影響を及ぼしています。さらに全般的な公共事業投資が減少するなかで建設業者が積雪時しか使えない除雪機械を保有することが困難となってきました。今後の除雪作業の不安要素となっています。

また、会計年度独立の原則により、新年度工事は新年度予算となる4月から執行されることから、工事適期である4月から6月の間の工事が難しく工程上大きな問題となっており、当該年度に支出を伴わない債務負担行為、いわゆる0債を活用し工事適期に工事ができるように望まれています。

○課題

・道路整備の必要性

自動車への依存度が高いため、道路は生活に必要不可欠となっており、交通渋滞や冬期の円滑な交通の確保が課題です。

・高速道路ネットワーク

安全で安心の暮らしを確保、地域の自立と活力を支えるために、高速道路の整備が課題です。

・構造物の適切な維持管理

次々と老朽化が進む橋梁等の適切な維持管理・補修が必要で詳細な点検調査・高度な専門技術とそれにかかる財源確保が必要となります。

・道路交通の安全

自動車交通の大型化、重量化により路面の補修等が拡大しつつあり、舗装修繕等の維持管理費が増加しています。また、児童、高齢者等の歩行者安全確保のため歩道設置の要望が多くあります。

・冬期交通の安全確保

除雪作業に従事する建設業者の減少及び除雪機械の不足が進んでいます。このため、年次的に除雪機械購入等、市民の冬期交通確保することが課題です。

・道路冠水対策

市街地では、ゲリラ豪雨などで道路冠水箇所が発生し安全、安心な道路環境を確保する為、防災対策などが課題です。

豊岡では日本の空から一度は姿を消したコウノトリが再び空を羽ばたいています。

豊岡市は、コウノトリが大空を悠然と舞う姿に人々が共感しおおらかな気持ちで暮らせるまちをめざします。

コウノトリをシンボルとして戦略的なまちづくりを展開し次のようなまちを創造します。

○人々が四季の移り変わりのなかで、安心と懐かしさ、地域への深い愛着を感じることのできるまち。

○自然や歴史、伝統を大切にし、おだやかさと安らぎに満ちた持続可能なまち。

○人々が大いなる夢と希望を抱きながら活躍し元気と賑わいがあふれるまち。

このようにコウノトリをよみがえらせシンボルとして環境を良くし人々が安全・安心して暮らせるまちづくりを実現すれば小さな都市(まち)であっても、世界の人々から尊敬され、共感され、魅力あるまちとして注目され、交流の場がいつそう高まるものと信じています。

このためにも道路ネットワークが未整備な本市においては、広域交通基盤整備が重要で観光の振興、産業・物流の効率が向上し、交流・連携を支える手段として早期の道路整備が期待されています。

また、生活に密着した道路も幼い子供を育み、お年寄りを大切にする少子高齢化社会を踏まえ、安全・安心の暮らしを求め、災害に強い、医療、福祉など日常生活向上のため快適な道路空間づくりの取り組みを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

兵庫県豊岡市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・計画的・効率的な維持管理や更新 ・地域活力の向上	豊岡市道橋梁長寿命化修繕計画の策定とそれに基づく維持 北近畿豊岡自動車道 鳥取豊岡宮津自動車道	維持管理の工夫により長寿命化を図り、経費節減 大都市圏との移動時間の大幅な短縮より、経済、観光の向上 通過交通の排除により、市内交通の渋滞緩和、事故減少等、交通の円滑化	
・水害等の災害に強い国土づくり	北近畿豊岡自動車道 鳥取豊岡宮津自動車道	災害時に機能する道路が存在することにより、救助・救援の道の確保	
・持続可能な地域の形成	北近畿豊岡自動車道 鳥取豊岡宮津自動車道	但馬で唯一の3次救急医療施設である豊岡病院へのアクセスが強化され、住民の命と健康を守ります。	
・総合的な交通安全サービス及び危機管理の強化	除雪機械の保持〔新規購入、更新、レンタルなど〕 消雪用地下水利用の代替手段(河川水、地熱利用など)	除雪作業に従事する建設業者の減少及び除雪機械の不足が進んでいます。このため、自治体で除雪機械を保持し、市民の冬期交通確保を図ります。 消雪用地下水利用が地盤沈下の大きな要因となって社会基盤施設の維持管理や市民生活へ支障が出ています。社会基盤コストの低減、市民生活の安全・安心を図ります。	